

報道機関 各位

参加人数 100 人超



## 化学剤（サリン）散布を想定した 大規模テロ災害対応訓練を実施します！

本市消防局では、1995年に起きた地下鉄サリン事件の教訓を踏まえ、消防部隊の災害対応力の強化及び北九州DMATとの連携の向上を図るため、参加人数100人を超える大規模テロ災害対応訓練を実施します。このような訓練は、毎年実施してきましたが、令和2年から令和4年にかけては新型コロナウイルス感染症感染拡大により実施を見送り、今年は“4年ぶり”の実施となります。取材方、よろしくお願いいたします。

### 訓練の特徴

- 化学剤から身体を守るため、**特殊な防護服**を着装した救助活動
- 化学剤を吸い込んだ負傷者に薬剤を注射する**解毒剤自動注射器**を使用
- 救急隊と**北九州DMAT（災害派遣医療チーム）**が連携した救急活動

防護服での救助活動



解毒剤自動注射器の使用



DMATとの連携



### 北九州DMATとは？

専門的な訓練を受けた災害拠点病院（市内9病院）の医師・看護師などからなり、災害発生直後の急性期（おおむね48時間以内）から活動できる機動性を備えた災害派遣医療チームです。

### ■ 日時・場所

令和5年10月20日（金） 9時45分～12時00分  
北九州市消防訓練研修センター（北九州市小倉北区東港一丁目2番5号）

### ■ 訓練概要

「会議場において、何者かが化学剤（サリン）を散布し、多数の傷病者が発生した」との想定で、訓練を行います。（詳細は別紙をご覧ください）

### ■ 参加機関

・北九州市消防局 23隊 86人（ほか負傷者役 24人）  
・北九州DMAT 2病院 9人（北九州市立八幡病院、北九州総合病院）  
・NBC災害対策に関する協定締結企業・大学 3機関 3人  
（九州工業大学、北九州市立大学、日揮触媒化成株式会社） 合計約130人

### ※NBC災害とは

Nuclear(放射性物質)、Biological(生物剤)、Chemical(化学剤)の頭文字による災害の総称

■ 安全対策等 安全な位置から撮影していただくよう、撮影場所は適宜ご案内いたします。

■ 問い合わせ先 消防局警防課救助係 担当：秦、田中（TEL：093-582-3817）

※ 訓練の安全確保のため取材を希望される場合は、10月19日（木）17時までにご連絡ください。

## 訓練概要

### ■ 訓練タイムスケジュール

時間	内容
9:45～	訓練開始報告
10:00～11:30	活動開始～活動終了 ・救助隊による検知活動（※1）及び救出活動 ・除染隊による除染活動（※2） ・救急隊及びDMATとの連携によるトリアージ活動（※3）及び医療活動 ・解毒剤自動注射器（※4）の使用
11:45～12:00	訓練講評・訓練終了報告

※1 検知活動とは、専用の機器を使用して化学物質の種類や濃度を特定する活動

※2 除染活動とは、傷病者や消防隊員などに付着した化学物質を、水で洗い流すなど除去する活動

※3 トリアージ活動とは、傷病者の負傷程度に応じて、病院へ搬送する順番を決定する活動

※4 解毒剤自動注射器とは、特定の化学物質を吸い込んだ傷病者に、消防隊員などが薬剤を投与する注射器

### ■ 活動状況（過去の活動写真）



### ■ 駐車場



入って左側に駐車場があります。  
空いているスペースに停めてください。